

# 平成31年度(2019年度)年度経営計画

## 1. 経営方針

### (1) 業務環境

#### 1) 兵庫県の景気動向

平成30年度の兵庫県の景気は、高水準の設備投資や生産の増加、雇用・所得環境の改善による堅調な個人消費を背景として、緩やかに拡大を続けてきました。当面この傾向は持続すると見込まれますが、中国経済の減速、英国のEU離脱、10月に予定されている消費増税など、今後、兵庫県の景気に影響を及ぼす課題も控えており、なお先行きは不透明な状況にあります。

#### 2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

県内における中小企業の景況感は、緩やかな拡大が見られており、改善傾向にあります。しかしながら、中小企業・小規模事業者全てにその効果が行き届いているわけではなく、人材不足や事業承継などの経営課題も顕在化しています。また、今後の景気動向によっては、中小企業・小規模事業者もその影響を被ることは必至と考えられ、経済の動向を注視しつつきめ細かい支援を継続していくことが必要です。

#### 3) 信用保証を取り巻く情勢

わが国経済が長く改善基調にあることや、金融政策が担保・保証に過度に依存しないよう促す方向にあることから、全国的には保証利用は右肩下がり傾向にあります。そのなかで、当協会は、保証の仕組みを常にきめ細かく見直すことにより保証需要の喚起に努め、この数年間増加ないし現状維持で推移しています。

一方、減少が続く中小企業・小規模事業者に関し、経営改善、生産性向上、事業承継、創業などを促し、企業価値を向上していくことが求められており、信用保証もこれに貢献することが期待されています。こうしたことを踏まえ、保証協会は、保証と経営支援を積極的に推進することにより、地域創生の実現に向けた役割を果たしていくことが重要です。

## (2) 業務運営方針

当協会は、昨年創立 70 周年を迎えました。併せて、改正された関係法令が施行となった初年度ともなり、これを期して、年度後半には保証・経営支援特別推進月間を実施しました。目標のうち、金融機関との連携、経営支援の推進についてはおおむね達成できましたが、保証利用の向上にはさらなる業務推進が必要であることが確認できました。

平成 31 (2019) 年度は、この成果を踏まえ、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念のもと、中小企業・小規模事業者に寄り添い、そのニーズをきめ細かく汲み取りながら、業務を推進します。

折しも、本年度は、平成の時代から新しい時代へと引き継がれる年です。当協会にとっても次なる 10 年の初年度ともなる年であります。70 周年を期して定めた新しいロゴ「地域とともに地域のために」を掲げ、新しい時代にふさわしい保証協会に向けて「リ・スタート」します。

この方針を実現するため、次の取り組みを積極的に推進します。

- 1) 企業のライフステージに対応した保証商品のラインアップ化をさらに充実し、積極的に信用保証を提供することにより、経営改善や生産性の向上に向けた安定的な資金調達を支援します。
- 2) 関係機関との連携により、個々の企業に最適となるきめ細やかな経営支援を展開します。  
また、創業に関する理解と関心を深めるイベントを開催し、創業機運のさらなる醸成を図ります。
- 3) 求償権の回収については、個々の求償権の内容を見極め、効率的・効果的な回収に繋げることで回収の最大化を図ります。さらに、事業再生や生活再建の観点にも配慮し、それぞれの状況で相応しい対応を行います。
- 4) 公的機関としての社会的責任を果たすため、コンプライアンスの徹底に取り組みます。  
また、反社会的勢力等に対しては、関係機関との連携体制のもと、その一切を排除します。

## 2. 重点課題

### 【保証部門】

- 1) 企業のライフステージに応じた資金需要の把握と保証商品の提供
- 2) 地域創生に貢献できる創業支援、経営支援の取組の強化

### 【期中管理・経営支援部門】

- 1) 企業のライフステージに応じたきめ細やかな経営支援の推進
- 2) 関係機関との連携強化

### 【回収部門】

- 1) 回収の最大化と効率化に向けた取組の実施
- 2) 事業再生、生活再建への支援

### 【その他間接部門】

- 1) 顧客満足度の向上・広報活動の充実
- 2) 人材育成・組織の更なる活性化
- 3) コンプライアンス態勢の強化
- 4) 危機管理体制の堅持
- 5) 安全かつ効率的な資金運用
- 6) ICTを活用した業務改革の推進
- 7) 但馬支所と淡路支所の建替え

### 3. 主要業務数値の計画

平成31年度（2019年度）の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は以下のとおりです。

項目	金額	前年度計画比
保証承諾	4,000億円	100.0%
保証債務残高	1兆790億円	99.9%
代位弁済	195億円	114.0%
回収	61億円	93.8%